

学校経営の方針

1 学校教育目標

「あい」ある学び舎の創造

～自律・尊重・感謝～ (令和4年制定)

(あい = I・愛・合い・会い「**あなたの いまの幸せ**」)

2 めざす生徒像 三中スローガン **「日々挑戦!! 共に伸びゆく三中生」** (平成2年制定)

(1) **しなやかな生徒** (認め合う生徒) **明朗**
柔軟な考え、レジリエンス、他者理解(認め・許す)、相談、相互

(2) **たくましい生徒** (磨き合う生徒) **気力**
心身の健康、目標・夢実現に向けた努力、自分らしさの追求
困難から逃げない心の強さ

(3) **品格のある生徒** (高め合う生徒) **荘厳**
ありがとう、礼儀、正しい判断、清掃・給食・ボランティア、
出会いを大切にする気持ち、貢献

※校章は「明朗」「気力」「荘厳」の象徴

3 めざす学校像 **ワクワクする学校**

- (1) 生徒にとって、明日を楽しみに通える学校
⇒ 明確な目標・仲間と協働・成長の実感
- (2) 教師にとって、同僚性があり、夢と理想を語り合い、働きがいのある学校
⇒ お互い様・お陰様、役割を超えて(のりしろ)、
積極的な真面目な雑談
- (3) 保護者・家族・地域にとって安心感があり、子どもが学ぶことを誇りに思う学校
⇒ 応援のしがいのある学校

4 めざす教師像 **生徒理解に努め心に寄り添う教育を実践する教師**

- (1) 力量を高め、授業改善を進める教師
対話的・協働的な活動とICTの活用を重点に
教科学習 ⇒ 深い学び 特別の教科 道徳 ⇒ 考え、議論する道徳
特別活動 ⇒ キャリア教育 総合的な学習の時間 ⇒ 個人探究
- (2) 研修に努め、子ども・保護者・地域・同僚から信頼される教師
キャリアに応じた研修、学区小学校との連携(小中一貫)
明朗、情熱、丁寧な説明・対応、不祥事のない学校
- (3) **メリハリをつけ働き方改革を推進する教師**
優先順位、心身の健康に留意した声の掛け合い

5 地域との連携 地域の資源を有効に活用する

- ・ **三コミ活動** (小学生が憧れ、在校生が誇りを持ち、卒業生が愛着を持つ活動)

- ・ マコモ植栽ボランティア等の地域学校協働活動
- ・ 小中一貫教育
- ・ 民生児童委員会、主任児童委員会、保護司会、2つの交番 などなど

6 経営の方針

- (1) 学習指導要領や教育委員会等の方針や重点をふまえ、「新しい時代に対応した生きる力」の理念に基づいた経営を進める。
- (2) 「自立し社会に貢献できる大人になる基礎を築く大切な時期」を担う教育を推進する。
- (3) 「つながりと信頼」を大切にし、学校・家庭・地域が連携する学校運営を推進する。
- (4) 教育課程を工夫し、メリハリがあり充実した学校教育活動になるように努める。
- (5) 特別支援教育の推進を図ると共に、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援に努める。
- (6) 多くの人と交流する事で、生徒の可能性を広げ、他者理解を深める。
- (7) 安定した学級経営を基盤にし、3指導部体制による知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す。
- (8) 教職員は「チーム酒田三中」として力を合わせ明るい職場づくりに努めるとともに、効果的・効率的な教育課程の工夫や組織としての引き継ぎを大事にし、働き方改革を推進する。
- (9) 保護者や地域、関係機関等と連携し、安全・安心・安定した、地域と共にある、特色ある学校づくりに努めると共に、生徒、家庭・地域、同僚に「優しい三中」を意識した学校経営を行う。

7 今年度の経営の重点

あらゆる場面で生徒指導の三機能を意識した教育活動

経営課題は、居場所づくりと、絆づくりの支援

(1) 目指す生徒像

いろいろな人々とのかかわりの中で、自分を律する生徒

○生徒を主役、主語にした、「対話」を大事にする学校づくり

「対話」とは、 $A+B \rightarrow A'+B'+\alpha$

AとBが出会う。相互作用が始まる。AもBも変わる。そして、新しい価値なり制度なりが生まれる。

これまでは $\cdot A+B \rightarrow A$ 同化主義「郷に入れば郷に従え」

$\cdot A+B \rightarrow A+B$ 統合主義 or 分離主義

【志水宏吉氏「学力格差を克服する」より】

「変えられるのは自分と未来」（他人と過去は変えられない）

「これからがこれまでを決める」（これまでがこれからを決めるのではない）

- (2) 教務部 子どもとじっくり向き合う教育課程の編成
- (3) 学校研究 テーマごとの授業改善と「総合的な学習の時間」における個人探究
- (4) 学習指導 学習『聴考伝』 学習習慣の形成（CBTの活用）
- (5) 生徒指導 話し合い活動の充実 異学年との交流
- (6) 健康指導 生活時間の自己管理 清掃・給食活動の見直し
- (7) 学年経営 「魅力ある学校づくり研究事業」の活用
- (8) その他
 - ・ 部活動「地域移行」の検討 ・ 働き方改革のさらなる推進 ・ 自転車ヘルメット着用
 - ・ 校内倫理委員会の運用 ・ 評価評定の在り方